

湧きでるいづみ

山下いづみ後援会ニュース 第1号



「山下いづみ」は富士市政をどうしたいの？

虐待・いじめ・DVが騒がれているなか、もっとも必要なことは、従来の「マニュアル通り」の公共サービスから「柔軟性ある」公共サービスの提供に変えていくことです。せっかくの施設や人材が十分に活かしきれていないと思われる仕組み、これらを改善する必要があると痛切に感じます。市民生活を、豊かでより良いものとするために機能できる”富士市づくり”をめざします。

「笑顔あふれるまち」 をめざして！

- *困った
- *どこに行けばいいかわからない
- *どうしていいのかわからない
- *役立つ情報がほしい

＊家族ケアについて＊

子育て、青少年の育成、介護、心身障害、家庭内暴力、虐待、いじめ、親子関係、デート暴力、人づきあいの悩みなど

- 即座に
 - *知つて
 - *わかって
 - *使える
- 仕組みにする

- *助かった
- *頼りになる
- *サービスが比べられる

[必要なこと] 富士市の豊富な建物、人材を最大限に活かし、すべての情報が循環するシステム作り

＊家族ケア総合センターの設置

細分化されている支援を総合的に管理するシステムを作る。縦割り行政での弊害を除き、他の支援と連携し、市民が安心できる最大限のサービスを提供する。

＊人材を最大限に活かす研修制度

常に市民のニーズを把握し、対応できる知識・サービスを提供する。社会・学校教育に携わる人材に対する専門性の高い家族ケア研修を実施する。



日々の出来事

のら猫「にゃんこ」を飼い始めて3ヶ月が過ぎました。今では家族の中心です。まちで見かけるのら猫たち、安心して暮らせる家が見つかってほしいです。

愛ある言葉（1）

すべては必ずよくなる！

西園寺 昌美
(財)五井平和財団 会長

2006年12月1日

発行元：山下いづみ 後援会事務所

〒417-0001 静岡県富士市今泉8-13-11

Tel&Fax 0545-53-2458

E-mail iyamashita64@cpo.st.plala.or.jp



「山下さいづみ」のスキルに注目した機関紙

ファミリー・ライフ・エducation(FLE)(家族・生活・教育)

円滑な人間関係は、豊かな生活の基盤(衣食住)の上になります。FLEとは、心身の成長、地域社会、家庭生活、人間関係を総合的にとらえ、よりよい生活がおくれるよう支援するためのものです。

Well be Reports「ウェルビー健康・生き方レポート」平成18年初夏号(通巻36号)

平成13年7月創刊

世界の人と交流して学んだこと

「自分らしくまわりの人たちと調和していくこと」



山下さいづみさんはミシガン州立大学大学院ファミリー＆チャイルドエコロジー研究科修士課程を修了されて富士市でファミリー・ライフ・エデュケーターとして活躍されています。'06年2月、新幹線新富士駅でお会いし、FLE(Family Life Education・家族生活教育)のこと、海外のこと、海外の人と交流する生き方について取材しました。

「ファミリー・ライフ・エducation(FLE)とはどのようなことですか？」

80年半ば、アメリカでは家族問題の対応ばかりではなく、未然に防ぐ予防、防止教育の必要性から定着してきました。日々の生活に関わることや、人間関係が円滑にいくように、たくさんの「知恵袋」をもったサポートーといつてもいいでしょう。家庭科、生涯学習、子育て、家庭教育支援、行政、NPOの教育、福祉の中に必要な人材になってくると思います。

「FLEにはどのような分野がありますか？」

社会と家族、家族関係、性のこと、人、自分との関わり方、家庭財源の管理、親業、家族生活教育方法など10分野です。

「FLEでの山下さんの活動はどのようにされていますか？」

ファミリー・ライフ・エデュケーターとして小集会や講演や、大学のゲスト講師、先生との交流などを行っています。



「世界25ヶ国をまわられて印象に残ったベスト2の国について」

イタリアとアメリカです。

■イタリア：

イスイとイタリアを1ヶ月旅行した時、一生に一度住んでみたいと思いました。翌年、フィレンツェに語学留学しました。シェアでアパートに住み、昼食は1軒の店をきめて通いました。「今日のお勧めの食事とワインは?」といろんなワインを飲み、ふらふらになって帰り寝ました後、夕方また町にくりだし、習ったイタリア語を試してみました。5感6感をフル活動して生活しました。イタリアも日本も長い歴史があり、そんなところから、よくわかり合えるような気がしました。

■アメリカ：

20代の時シアトルに10ヶ月、30代の時、インディアナ州、ミシガン州に6年半住みました。その人の性格は抜きに、アジア人というだけで、口も聞いてくれない人に出会ったのは初めてでした。その一方で自分ががんばればいくらでも可能性が広がっていくのだと、感じさせてくれました。私がFLEに出会った大切な場所もあります。

「世界の人と友達になってどんなことを学びましたか？」

言葉があまりわからないということもありました。相手が何を伝えようとしているのか、一生懸命聞き、自分も素直に表現するようになりました。相手の価値観を尊重しながらも自分の価値観は何なのか、しっかりと考えらえるようになり、精神的に自立することを学んだと思います。それで、人や文化の違いを喜んで受け入れることができてくるのだと思います。いろいろな人たちとの交流の中で、自分が成長していくような気がします。

「これからどんなことをしたいですか？」

すべての国を旅すること、ガテマラの友のサポートをすること、ブラジルの友との共同活動、日本の友と共同創作、その他の世界中の友と何か創作する(まだ、漠然としていますが)そして日本でFLEの定着です。だれでも、ちょっとしたきっかけ(サポート)で、自分らしく、幸せに生きていくことはできると考えています。

「どんな人になりたいですか？」

いつも健康で明るく、前に向かって楽しみながら日々をすごしていきたいですね。どんな人とも和みみんなが穏やかな気持ちになれるような懐の深い人間になりたいです。

「願うことは何ですか？」

世界の全ての人々が幸せになってほしい。ひとりひとりにあった幸せがあると思いますし、またみんながなれると思います。

